

～全体を通してのご感想～

実践発表のご感想 /

- 子どもたちの発表は、子どもたちの成長を感じられ大変良かったです。
- 他の地域の活動が分かり、意欲が湧いてきました。ありがとうございました。
- 子どもたちと取り組むことで意味が有るメディアとの付き合い方も大人と子どもと一緒に学ぶことで心に響きました。参加して良かったです。
- 初めて参加させて頂きました。他学校のPTA活動内容が分かり見習いたいと感じました。
- 児童生徒さんが『とりのからあげ』という合言葉で意識して取り組んだ発表があり、とても感心しました。

大会運営のご感想 /

- 現地へ行けず、オンラインでの視聴参加となりましたが、自宅で夫婦で見られたので良かったです。
- 開会行事はもう少し時短を図っていただけるとありがたいです。
- 大きな大会を開催するにあたりご苦勞もあったかと思います。オンライン視聴でしたが見ごたえのある素晴らしい大会でした。
- 童子太鼓から最高に素晴らしかったです。自分を見直すきっかけにもなり、子どもたちの笑顔のために未来のために自分達に出来ることを実践していけたら良いなと強く感じました。

令和4年度鳥取県教育懇談会代替事業

「鳥取県版部活動の在り方検討」について



日時・場所：令和4年10月29日（土）10：00～12：00

伯耆しあわせの郷大会議室

テーマ：運動部活動の地域移行について

講師：鳥取県教育委員会体育保健課

指導主事 戸井有希 氏

I 施策概要説明

1. 運動部活動の地域移行に関する検討会議提言

（令和4年6月6日）の概要

- ① 目指す姿 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。
- ② スポーツは、自発的な参画を通して「楽しさ」「喜び」感じることに本質。自己実現
- ③ 地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備

2. 改革の方向性

- ① 休日の運動部活動から段階的に地域移行を基本
令和5年度開始3年後の令和7年度末を目途
- ② 平日の運動部活動の地域移行は地域の実情に応じて推進
- ③ 地域におけるスポーツ機会の確保、多様なニーズにあった活動機会の充実
- ④ 地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働

3. 課題

- | | |
|-----------|--------------|
| ① スポーツ環境 | 地域の実情に応じる |
| ② スポーツ団体等 | 予算の確保 |
| ③ スポーツ指導者 | 資格取得・研修人材バンク |
| ④ スポーツ施設 | 管理委託 |
| ⑤ 大会運営 | 主催者 |
| ⑥ 会費や保険 | 家庭への支援 |
| ⑦ 学習指導要領等 | 評価 |



II グループ討議

- ① 地域移行は 東部・中部・西部の広域なエリアで対応してほしい。市町や学校に任せてもうまく進まないだろう。
 - ・機会を作ることは必要だが、たくさんの競技をしようとしたら難しいのでは。
 - ・自己実現が目的なら、複数種目で試合に参加できることも認めるべき。
- ② スポーツ少年団が受け皿になるのか
 - ・そもそも日曜日に部活が必要なのか
- ③ 送迎等も含めて保護者負担が増えるのでは
 - ・保護者にとって指導者に対する不安がある。
 - ・部活動の全員加入ではなくなる事の影響は。格差も心配
- ④ 情報が伝わってこなく、小学生の保護者は不安。
 - ・クラブチームで選手の奪い合いが生じないか。
 - ・学校に入りたい部活がない生徒には良いこと。

- 中学校の部活動を取り巻く環境が大きく変わっていくことがよくわかった。今後、地方の新しい部活動のあり方を鳥取県が率先して構築出来るよう、いろいろ検討していきたい。
- 正にこうしたときこそ学校、地域との連携を図る「PTA」の存在が改めて重要かと感じた。
- 色々と難題もあるが、スピード感と現場感をもって取り組むことが重要だと思った。



教育長へ要望書を提出しました

令和4年12月27日（火）、令和5年度鳥取県教育予算に関する要望書を足羽英樹鳥取県教育長に松岡会長の代理として高尾副会長が提出いたしました。この要望書は鳥取県PTA協議会の総務委員会（令和4年度は西部ブロック担当）が中心となって作成し、三役会・理事会で検討してきたものです。

足羽教育長とは、直近の課題として部活動の地域移行、継続的な課題としてコミュニティ・スクールやインターネット利用教育について意見交換をさせて頂き、「全ての子どもたちのために“市町村教育委員会と一緒に取り組めます」というお言葉をいただきました。

また、鳥取県議会の各派を訪問させていただき、来年度の予算案要望について説明の機会をいただきました。令和5年度の要望項目、また令和4年度に提出した要望書の回答については以下をご覧ください



令和5年度 要望書

1. 新型コロナウイルス関連について

- ・感染状況の変化、国の施策の変わるタイミングにおいて適時、市町村教育委員会・学校と連携をとり徹底されることを要望します。
- ・児童生徒が陽性或いは濃厚接触者として自宅にいる期間中にもオンラインを利用した授業の参加ができるようどの学校、学級においても準備されるよう要望します。

2. 教職員の不祥事について

- ・教職員の精神的ストレスの軽減をはかるための具体的対策を要望します。
- ・組織的にハラスメントを許さないという取り組みが徹底されることを要望します。

3. 教職員の不足について

- ・人材確保の一つとして県外学生に対する積極的な採用活動のアピールを要望します。また鳥取県内の大学に教育学部が設置されるよう、関係各所に働きかけしていただくことを要望します。
- ・これまでの経験を活かし、現役の先生方のサポートや相談役などとして、定年退職をされた先生方の積極的再雇用を要望します。また、民間、地域に依頼できることは委託し、先生方の業務量軽減をはかるよう要望します。

4. いじめ不登校について

- ・校内サポート教室の拡充、学校生活適応支援員のさらなる配置、専門のスキルを持った先生方による支援体制がどの学校でも行われことを望みます。
- ・ヤングケアラーとよばれる子どもたちが、個別の事情に沿った適切な支援を、地域、及び行政を含め包括的に受けられるよう関係各所に働きかけされることを望みます。

5. コミュニティ・スクールについて

- ・学校運営協議会の委員がその役割を理解し、主体的な活動が行われ、形骸化しないように第三者によるアドバイザーを派遣頂き、指導、助言されることを要望します。
- ・先進的取り組みを行っている学校の様子などを各コミュニティ・スクールが情報を得られるよう広報されることを要望します。

6. 部活動について

- ・休日の部活動地域移行に関し、PTAを含む関係諸団体に早期に状況、方向性の説明がなされ、課題を整理し、準備がなされていくよう要望します。
- ・部活動支援員の充実及び部活動指導員の資質向上を要望します。また、民間の受け入れ団体の集約及びコーディネーターの設置を要望します。

6. 通学路の安全確保について

- ・年度当初に各学校で行われる点検の結果を踏まえて計画的な修繕、改修が行われるよう関係機関との連携を図り、継続的に働きかけていただくよう要望します。

7. インターネット利用教育啓発活動について

- ・子どもたち自身が、日頃からインターネットの正しい利用を心掛けられる取り組みとして、『とりのからあげ』の普及促進と、学校で使用する端末の起動時に注意喚起のメッセージを見られる仕組みを検討されることを要望します。

8. 適切な維持管理、環境に配慮された学校施設の実現について

- ・学校施設は避難所としても使用されます。危険個所の早急な点検を行い、安全確保に努めるとともに十分な予算を確保し、適時適切な修繕が行われるよう鳥取県の支援を要望します。
- ・各普通教室にエアコンが設置されてはいますが、断熱性が乏しい学校施設においては、効率が悪く、電気代や地球環境にも大きく負荷がかかっている状況です。暑さ寒さを軽減する断熱改修が行われることを望みます。



令和4年度鳥取県PTA協議会要望に対する対応方針

※紙面の都合上、抜粋しています。
全文は県PのHPをご覧ください

要 望 項 目	要望に対する対応方針
1. 新型コロナウイルス感染症と向き合う、新しい学校生活様式の実現に向けて <p>新型コロナウイルス感染症拡大への対応については、鳥取県においても多種多様の対応を行っていただいておりますが、時勢を考慮した、さらなる予防策、対応策について継続して検討していただき、子どもたちが安心・安全且つ、充実した学校生活を送れるよう、以下のとおり要望します。</p> <p>(1) 適切な感染症予防対策と同時に、誹謗中傷などによる子どもたちの心身への負担にならない環境づくりをしてください。</p> <p>(2) 学校行事等においても、感染拡大状況等を考慮しながら、with コロナでも実施可能な代替案を検討するなどし、体験から学べる学習機会の確保と、記憶に残る学校生活が送れるよう取り組みの推進を図られるよう引き続き要望します。</p> <p>(3) 「鳥取県市町村（学校組合）立学校用新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」により児童生徒の生命や健康を保護し、安全性を確保した教育活動を推進してください。</p> <p>また、市町村教育委員会及び学校との連携により、本ガイドラインの一般への周知拡大と徹底を要望します。</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う臨時休業等に備え、オンライン授業の体制整備の更なる推進が必要と考えます。市町村教育委員会及び学校との連携により、オンライン授業の体制整備に係る予算確保を要望します。</p> <p>また、ICT支援員の配置に対する計画的な働きかけと、ICT支援員、教職員への研修の充実を図るとともに、学校規模に応じて対応できるよう、ICT活用教育スーパーバイザー、ICT教育アドバイザーの適正な配置を要望します。</p>	<p>(1) これまで取り組んできた「誹謗中傷や差別の防止対策」を繰り返し行うことに加え、必要に応じてメッセージを発信するなどして子どもたちや保護者の不安解消に努めます。</p> <p>今後も、市町村教育委員会と連携しながら取り組んでいきます。</p> <p>(2) 今後も、感染拡大の状況を考慮しながら、市町村教育委員会や学校に対して適切な情報提供をするなど、市町村教育委員会と連携し、鳥取県の児童生徒の体験から学べる学習機会の確保や豊かな学びの保障に引き続き取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>(3) 今後も感染状況等を踏まえながら、必要に応じてガイドラインの改訂・追加を行う予定です。</p> <p>なお、本ガイドラインは一般の方にも御覧いただけるように、鳥取県教育委員会のホームページにも掲載しています。</p> <p>(4) 来年度はICT活用教育スーパーバイザーに加えて、教員に対してICTの効果的な活用や授業改善について直接指導することで、ICTを活用した授業づくりと業務改善を推進するICT教育指導員を配置するように予算を提案しています。</p> <p>オンライン授業の体制整備やICT支援員配置等のための財政措置のさらなる充実については、今後も様々な機会を通じて国に要望を行っていきます。</p> <p>また、教員等への研修については引き続き様々な形で提供していきます。</p>



要 望 項 目

要望に対する対応方針

2. 不登校児童生徒数の増加傾向について

鳥取県においても、不登校の子どもが年々増加していることから、それに対応した体制づくりを行っていただいているところであり、すべての子どもが安心して学べる環境づくりのためにも、校内サポート教室設置校を増やしていただくとともに、小学校への設置も進めていただくよう引き続き要望します。

また、不登校の子どもに対し、学校に通うことだけを最終目標とせず、その子どもが安心できる居場所づくり、学習のサポート等、個々の状況に応じた支援が行われるよう県内の学校への働きかけや研修会の充実を図ってください。

3. 教職員が心身ともに充実し、子どもたちに向き合える環境について

教職員の過度な業務量、長時間勤務が問題となっています。働き方改革により勤務時間の削減は行われているかもしれませんが、求められる指導内容や指導力というのは多岐にわたり、多大なストレスになっているものと思われます。

一人の教員がいろいろなことを抱え込まずに業務を行える体制づくり、日頃の変調をいち早く感知できる体制づくり、そして、少しでも不調を訴えることがあれば、専門医に相談できる体制づくりなど、あらゆる面でのメンタルサポートが行える体制づくり職員数50人未満の場合でも、努力義務となっているストレスチェックへの取り組みが適切に行われるよう、市町村への働きかけと連携体制の構築の推進を要望します。

また、子どもたちをとりまく環境においても、コロナ禍もあり、心身ともに負担が増えていることが懸念されます。個々の状況に応じたきめ細かい支援ができるよう、養護教諭配置への加配対応を要望します。

加えて、様々なケースに対応できるよう、人材育成や資質向上に取り組んでください。

具体的には、市町村教育委員会と学校がオンラインも活用しながら、これまで以上に連携し、チームとして若手教職員のOJT研修に取り組むことのできる仕組みづくりの検討を要望します。

4. 部活動の在り方について

少子化に伴い、競技、学校によっては部員数が減少し、部活動が成り立たなくなっている現状があり、今後ますます学校、保護者、地域や各種団体等とのつながりが重要です。

これからの部活動の在り方について、「鳥取県運動部活動の在り方に関する方針」に掲げられている、運動部活動外部指導者、部活動指導員の配置の拡大への働きかけとともに、制度の普及促進を図られますよう引き続き要望します。

5. 教員配置の更なる充実について

従前より、教員の適正配置については要望しているところであり、鳥取県においては国の基準を上回る、更なる少人数学級への取り組みを実践し、推進を検討していただいているところですが、次のように要望します。

(1) ICT教育の進展や多様化する社会情勢のなか、これまで以上に一人一人の児童生徒に向き合う時間の確保と、きめ細かな指導が展開できる職員配置のために、学習支援員や特別支援学級への加配等の各種加配の増員や、通級指導教室の拡充、スクールソーシャルワーカーの増員を要望します。

(2) 多岐に渡る業務のなか、教職員の方の負担増とならないようにするためにも、新規採用者数が定年退職者等の補充のみで終わらず、更なる教職員の配置数増となるよう、教職に対する魅力の発信等で鳥取県における教職員採用の促進に努めていただくように要望します。

6. 通学路の安全確保について

子どもたちの生命を守るための通学路における安全確保と対策は重要であります。

県が定める、「通学路等における児童等の安全の確保に関する指針」にも掲げられておりますように、通学路等における安全な環境の整備や、関係機関との連携等、様々な取り組みが進められているところでもあります。

市町村教育委員会及び学校、我々PTAや各種団体との一層の連携強化を図っていただき、県内における危険箇所の洗い出しや速やかな対策を講じられるよう、適切な予算確保を要望します。

7. インターネット利用教育啓発活動について

今年度から、GIGA スクール構想により、児童生徒が1人1台のタブレットやPC端末を活用した学習が本格的に始まりました。これにより、学習活動の一層の充実が期待され、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善がより進むことを願っています。

今後も、都度時代に合わせた内容に改善しつつ学びの場の充実を要望します。

また、子どもたちのネットリテラシーの向上を図るために、タブレット端末やYouTube を起動、利用する度に、正しい利用の呼びかけ画面の表示等、これまででない手法等を取り入れ、注意喚起の積極的な働きかけを要望します。



校内サポート教室については、現在の設置校における成果や課題等を整理した上で、設置校数について検討するとともに、市町村教育委員会と連携して、設置校の効果的な運営方法等について他の中学校に普及を図ります。併せて、小学校に対する校内サポート教室の活用事例について情報共有を検討します。

また、引き続き、学びの機会を失っている不登校児童生徒を対象に、ICT等を活用した自宅学習支援を行い、学ぶ意欲の高まりや学力補充を通して自己肯定感を高め、社会的自立に向けて支援していきます。

あらゆる面でのメンタルサポートにつながるよう、小中学校の初任者、中堅、管理職それぞれを対象に、メンタルヘルスの研修を行っているところであり、今後もこれらの研修を継続するとともに、「心の健康相談員」を配置し随時相談に応じていることについて、市町村に対し積極的に周知を図っていきます。

ストレスチェックについては、職員数50人未満の場合でも努力義務となっているため、職員数の少ない小中学校又は義務教育学校においても適切な対応が求められているところであり、長時間勤務等の労務管理と併せて引き続き市町村に対し働きかけを行っていきます。

養護教諭の加配については、現在国からの加配を受け、学校の規模等に応じて小中学校に養護教諭の複数配置をしているところです。次年度も引き続き国へ加配要求をしていきます。

また、教職員が育ち合う仕組みづくりのために昨年度モデル導入した若手教員やリーダーとなる教員等をメンバーとしたチームによる研修についてまとめた「OJTによるとっとり人材育成の手引き」を作成し、各学校に周知を図ったところであり、今後、初任者研修はこのような方法を拡大しながら実施していく予定です。各学校において若手教員を育てることを通して、全教職員が育ち合う人材育成システムの定着を図っていきます。

運動部活動外部指導者、部活動指導員とも、教員の負担軽減及び部活動の充実に大変効果的であることから、各市町からの配置希望に対して、今後も支援を行っていきたいと考えています。

特に顧問教員に代わって生徒を指導する部活動指導員については、保護者の方々の中にも適任者がおられると思います。今後、中学校や市町教育委員会あるいは県教育委員会から行う保護者の方々への周知については、PTA団体からも周知をしていただけると更に効果的だと考えているので、御協力いただければと存じます。

- (1) 小中学校における様々な課題に対して、「チーム学校」として柔軟に対応するため、学習支援員や通級指導教員などの必要な職に係る基礎定数化等について国へ要望しているところであり、今後も引き続き増員要求をしていきます。
- (2) 令和5年度教員採用試験に関しては、鳥取県の魅力や教員の魅力を発信するプロモーション動画の作成（外部委託）を予定しています。その動画を基軸に、関西会場付近の大規模な駅にデジタルサイネージを掲載又はWEB広告として掲載する予定です。

児童生徒の通学路の安全確保の必要性・重要性については、県としても十分に認識しているところであり、例年、年度当初に各学校が保護者や地域住民等と連携して交通安全面、防犯面等から通学路の点検を行い、その結果を踏まえて学校・市町村教育委員会、道路管理者、警察等関係者による合同点検・検討を経て、各関係機関がそれぞれの分野で対策を行い、通学路の安全性の向上を図っています。

今後も、児童生徒の大切な生命を守るために、学校や市町村教育委員会、また直接危険箇所等の修繕・改修を行う道路管理者、警察等関係機関が連携しながら、危険箇所の洗い出しや速やかな対策、予算の確保など通学路の安全確保を一層強化していくよう努めます。

県としても、電子メディアについては、活用促進とモラル啓発は車の両輪のように考えており、学校に対しては、時代に合わせた情報モラルに特化した教職員研修、情報モラル・リテラシー・シチズンシップ等の指導ができる専門人材の派遣、ICT活用教育推進地域や学びの創造先進校における情報モラル教育の取組の周知等を引き続き行う予定です。

また、家庭に対しては、保護者や地域の大人・子どもたちのメディア機器利用の現状と発達段階に応じた対応策を学習するための講師派遣事業、児童生徒がインターネットをより良く利用できるよう保護者向けの情報を盛り込んだ学習ノートの作成・配布等を引き続き行う予定です。

併せて、民間団体と連携して子どもたちが主体となって、電子メディア機器とのより良い接し方を考え、実践する取組を引き続き進めていくとともに新たな働きかけについて検討します。

なお、タブレット端末を活用した注意喚起については、機会を捉えて市町村教育委員会に意見を聞いてみたいと考えます。

令和4年度 日本PTA年次表彰 おめでとうございます！

令和4年11月18日にホテルニューオータニ（東京）において表彰式が行われました。
受賞された皆様、おめでとうございます。

文部科学大臣表彰の赤崎中学校は12月27日に県庁で足羽教育長より表彰状の伝達式を行っていただきました。人が集う事に制限がある中、「PTA活動をとめない」を合言葉にほぼ予定通り活動を実施し、行事後には保護者アンケート等で意見や要望を集約している点や、会報とは別に四役会が通信「LIVE」を発行し、協議結果等をスピーディに会員に伝える取組等が評価されました。

日本PTA団体表彰の稲葉山小学校は、リモートでの研修やブックマーケット開催などコロナ禍でもできる活動を企画し、会員の交流を大切に活動が評価されました。



優良PTA文部科学大臣表彰

琴浦町立赤碕中学校PTA

全国小中学校PTA広報紙コンクール

佳作 北栄町立北条中学校PTA

佳作 三朝町立三朝中学校PTA

日本PTA全国協議会会長表彰

(団体の部) 琴浦町立赤碕中学校PTA
鳥取市立稲葉山小学校PTA

(個人の部) 米子市小中学校PTA連合会 箕浦美穂子 氏
米子市小中学校PTA連合会 秋藤 寿樹 氏
八頭郡小中学校連合会 山根 典明 氏

三行詩コンクール

三行詩カレンダー

米子高校、岩美高校、鳥取湖陵高校の書道部のみなさんのご協力で、素敵な三行詩カレンダーができました。
各校1部ずつ配布いたします。

令和4年度 鳥取県PTA会長表彰受賞作品

一般の部

「大丈夫？」
子どもを見守る地域の目
みんな大事な大家族
鳥取市立瑞穂小学校保護者 村山智子さんの作品

中学生の部

私の心の波
乗りこなせるのは
家族だけ
大山町立名和中学校3年 藤本夏希さんの作品

小学生の部

話そうよ
辛いこと 嬉しいこと
家族がきくと聞いてくれる
米子市立五千石小学校5年 細田結月さんの作品



令和5年度 楽しい子育て全国キャンペーン三行詩募集 家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ

テーマ 家族の会話やコミュニケーションから育まれる絆や、家族のルール
子どもたちの基本的な生活習慣づくりなどの家庭教育
一人一人の命のつながりや大切さ 家庭での日常の出来事 など

募集期間 令和5年3月1日(水)～令和5年6月30日(金)

募集対象 小学生・中学生・保護者・教職員等

応募方法 自筆の三行詩(短文)・氏名・年齢(新年度の学年)・学校名・住所・電話番号を記入し、所属学校へ提出、または直接下記の鳥取県PTA協議会事務局へ提出してください。
(三行詩は自筆で応募をお願いします。住所氏名等は保護者をご記入くださっても構いません)

※応募用紙は鳥取県PTA協議会のHPに掲載しています 検索 鳥取県PTA協議会

選考 小学生の部・中学生の部・一般の部より優秀作品を選定し、日本PTA全国協議会へ応募いたします。
また、各部門から鳥取県PTA会長賞(副賞:図書券3,000円分)1点と奨励賞(副賞:図書券500円分)数点を贈呈します。

応募先 ◆在籍する学校へ提出
[学校PTA担当者様] 応募作品を取りまとめて6月30日(金)必着で鳥取県PTA協議会事務局まで送付をお願いします。
◆直接 鳥取県PTA協議会事務局へ提出 6月30日(金)必着
鳥取県PTA協議会事務局
〒680-0846 鳥取市扇町21番地(県民ふれあい会館内)
TEL: 0857-21-2285 FAX: 0857-21-0906

PTA活動中の団体保険

(PTA団体傷害保険・PTA管理者特約付賠償責任保険)

PTAが主催する行事中に参加中のケガ・賠償事故を補償します。

例えば保険ってどんなときに支払われるの？

★PTA団体傷害保険

(お支払い例)

- ・所属するPTAの行事であるバレーボール大会の練習中、転んで足を骨折してしまった。※PTAの管理下で練習を行っていることが条件となります。
- ・所属するPTAの行事であるバザーで食中毒を起こし通院が必要となった。※細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を含みます。

★PTA管理者特約付賠償責任保険 ※PTA活動の遂行に伴い法律上の賠償責任が発生する場合に支払いとなります。

(お支払い例)

- ・所属するPTAの行事である清掃活動時、草刈機を用いていたところ飛び石により駐車場に停車中の車にキズをつけてしまった。
- ・所属するPTAの共催行事である運動会でテントの張り方が悪く、倒れたテントが生徒にあたリケガをしてしまった。

このチラシは「PTA団体傷害保険・PTA管理者特約付賠償責任保険」の概要を説明したものです。詳しい内容につきましてはパンフレットをご覧ください。なお、不明な点は、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。



●取扱代理店
株式会社 スマイル保険サービス
〒680-0822 鳥取市今町2丁目286番地
TEL 0857-51-1033 FAX 0857-51-1034
＜受付時間＞平日:午前9時から午後5時まで

●引受保険会社
損害保険ジャパン株式会社
〒680-0822 鳥取市今町2-112 アクティ日ノ丸総本社ビル2F
TEL 0857-23-3301 FAX 0857-27-1510
＜受付時間＞平日:午前9時から午後5時まで

【事故サポートセンター】
0120-727-110
【受付時間】24時間365日
SJJ2-00735(作成日:2022/04/06)

鳥取県PTA協議会 小・中学生総合保障制度 (こども総合保険)

団体契約なので 掛金が約39%割安

当制度の特長

※プランによってセットされている補償項目は異なります。詳細はパンフレットをご覧ください。
※引受保険会社にお問い合わせ下さい。

- ★お子さまがケガをした場合に補償！
- ★自転車事故でお子さまが加害者になってしまった場合の損害賠償責任も国内無制限補償！
- ★学校貸与の端末を誤って壊して、法律上の損害賠償責任が生じたときも補償！＜個人賠償責任補償(受託品賠償責任補償)＞
- ★トラブル被害対応補償付きプランなら、いじめ、SNS 上での誹謗中傷、ストーカーなどの被害にも備えられる！
＜※Wプラン、Kプランの場合＞

【引受保険会社】 AIG 損害保険株式会社 山陰支店 鳥取県松江市伊勢宮町 519-1 松江大同生命ビル 6F
TEL. 0852-26-2781 FAX. 0852-26-2776 (受付時間:午前 9:00～午後 5:00 土・日・祝日・年末年始を除く)

2023年2月現在の内容です

オンラインでも
お申し込み
いただけます!!



S-230386 有効期限 2024 年 2 月